

アフリカにおける 統合的湖沼流域管理(ILBM)の拡大

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

ワークショップの
参加者

242人

世界湖沼会議の
参加者

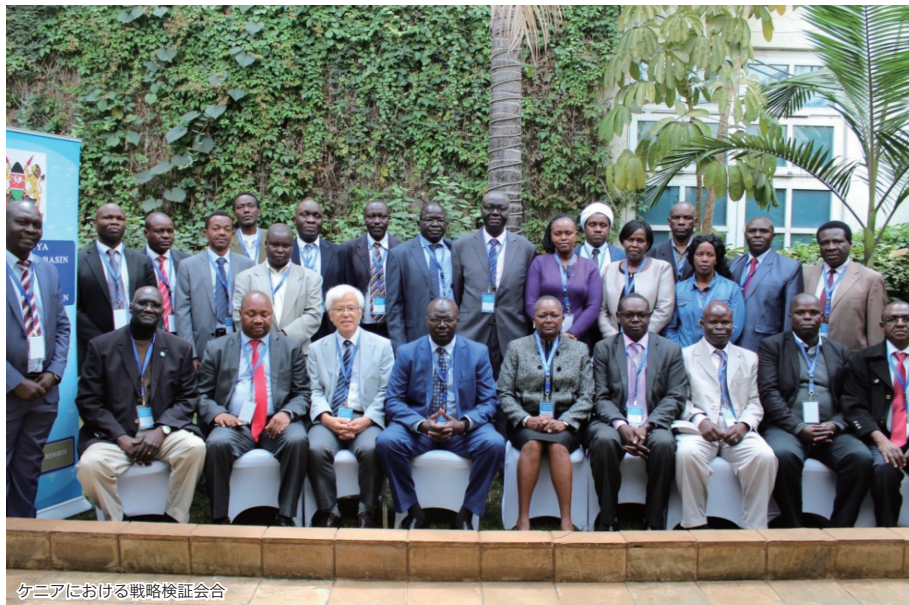
5,500人

今年度計画の達成度

100%

目標達成度

90%



ケニアにおける戦略検証会合

課 題

アフリカの湖沼流域は気候変動やガバナンスの欠如から、水資源の不足など種々の課題を抱えている。これらの課題には統合的湖沼流域管理による現状の補完が求められている。

目 標

湖沼保全、開発についてのケニア共和国における、国策、国家戦略にILBMが組み込まれ、ILBMを通じて湖沼の効率的・効果的な保全が自律的に進められる状態となること。

活動内容と成果

2018年8月の会合にて、ケニア国家水戦略への反映を合意するに至り、ケニアはアフリカで初めてのILBM採用国となる。ILBMは湖沼流域管理の概念であり、ケニアが国策として取り入れ、それに基づいた湖沼の保全に取り組もうとすることは、活動の大きな成果である。また、湖沼の現状を理解し、共通の課題を認識するためのツールを開発し、住民等の理解を促すための手段とした。これらの取組みを世界湖沼会議等で発信することもできた。西アフリカ地域では、国連環境計画等と協働で会合を開催できたことは、今後の活動に有効である。



西アフリカにおける国際ILBM会合

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

ILBMがケニア国家水戦略に組込まれ、実際にILBMプラットフォームプロセスが始動するにあたり、ケニア政府の関係機関と調整が必要であった点。

■ 工夫した点

国際機関、ケニア国政府、地方政府、研究機関、現地NGO等、湖沼流域管理に関する様々なステークホルダーと連携し、協働した点。



国際コロキウム(湖沼の主流化議論)

全助成期間の活動を振り返って

今期は、ケニアにおいて国家湖沼流域管理戦略草案を策定し、ILBMを国家水戦略(2018-2022)に組み込むべくケニア担当省庁と協議を重ね、合意できたことは大きな成果であった。しかしながら、この戦略はILBMの6本柱の重要な一つであるも、実際の行動に反映され、湖沼環境が改善されるまでには中期的な取組みが必要である。今後もケニア近隣国や西アフリカに展開し、持続可能な開発目標6.5の達成に貢献していく。

| 活動地域 | ケニア

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091番地

電話：077-568-4567

E-mail：infoilec@ilec.or.jp

<https://www.ilec.or.jp/>



今後の
展望

ケニア共和国においては、ILBMが組み込まれた国家水管理戦略に基づき、ILBMプラットフォームプロセスが自律的に始動し、湖沼流域管理が強化される状態になること。西アフリカやケニア近隣諸国においては、ILBMの有効性の理解が進み、ILBMプラットフォームの構築が開始される状態になること。これらを目指し、今後も継続して取り組む予定である。